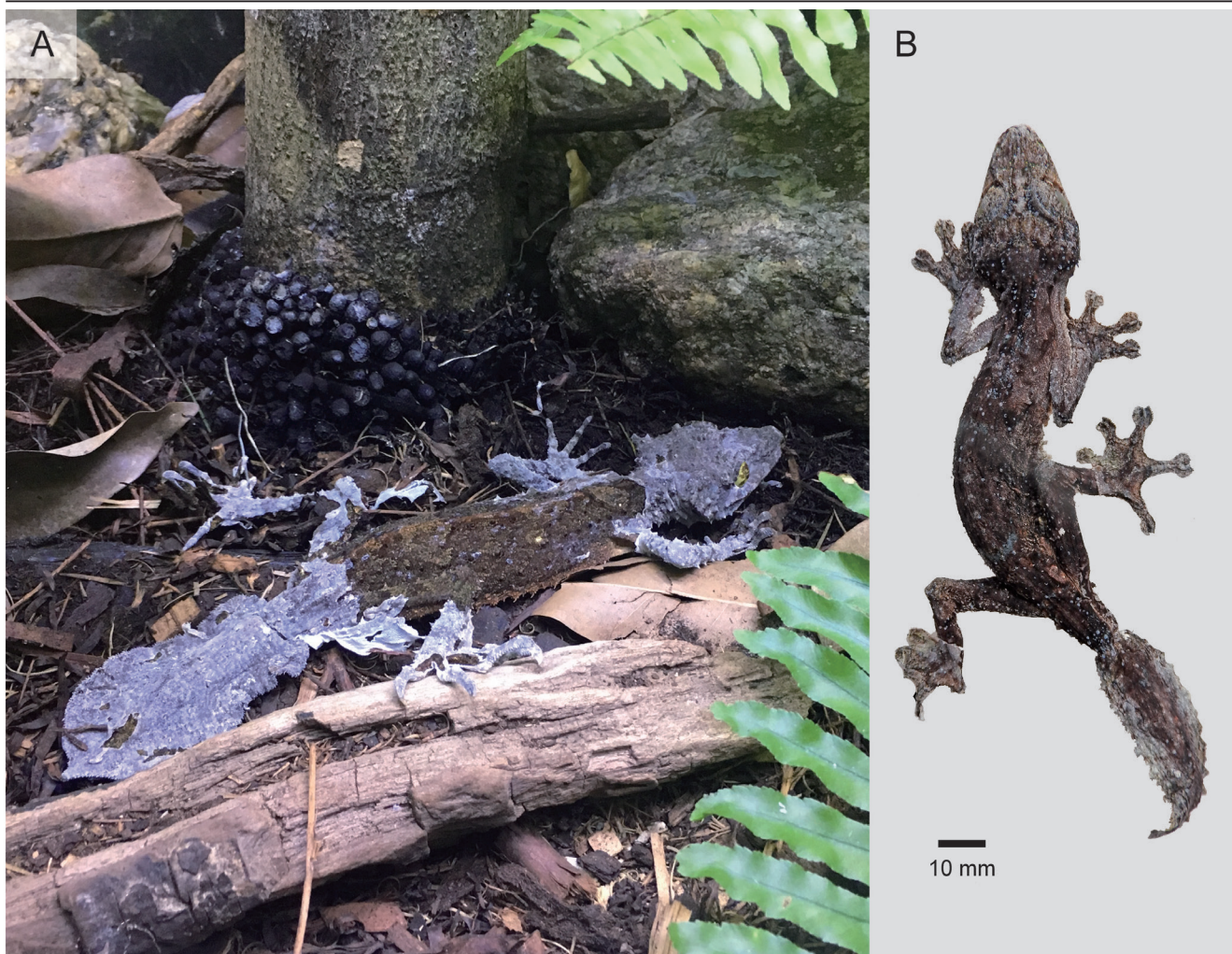


自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 25, No. 4 神奈川県立生命の星・地球博物館 Dec. 2019



擬態するヤモリ

オーストラリア クイーンズランド州
2019年9月 松本涼子 撮影

図A: オーストラリアのクイーンズランド州北部に生息する *Saltuarius cornutus*. 白い部分は脱皮による古い角質.

図B: マダガスカル東部に生息する *Uroplatus sikorae* (KPM-NFR 749).

まつもと りょうこ
松本 涼子 (学芸員)

世界に広く分布するヤモリ下目は、約1800種が確認されており、大きさ・色・形態などが多様です。例えばオーストラリアの固有種 *Saltuarius cornutus** は、枯葉のような姿をしています。図A のどこにいるかわかりますか？ オリーブ色と茶色のマール模様^{マール模様}に覆われた体は、彼らが生息する熱帯雨林に溶け込み、野外で見つけるのは至難の業です。属名 *Saltuarius* はラテン語で「森の番人」を意味し、忍者のように樹皮に擬態^{ぎたい}し森を見張る彼らにふさわしい名です。全長約20 cm と比較的大きく、大きな尾は危険に脅かされると

自切します。再生した尾は、ほぼ元通りの形になりますが、表面の棘^{とげ}は失われます。また、吸着性のある丸い指先は持たず、ほっそりとした指の先端には鋭いツメが付いています（図A）。この様に擬態するヤモリはマダガスカルにも生息しています（指先は丸い吸着型）。しかし、両者は系統的に遠く離れており、それぞれの生息環境に適応する中で似たような姿に進化したのです。両者を見比べると進化の面白さが垣間見えるのではないのでしょうか。

* 英名は northern leaf-tailed gecko. 北部に生息する葉のような尾をもつヤモリという意味。